

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月7日

上場会社名 日本特殊塗料株式会社
 コード番号 4619 URL http://www.nttoryo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 万喜夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務業務本部長 (氏名) 田谷 純 (TEL) 03-3913-6134
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	28,670	9.3	1,119	△9.6	2,125	△18.1	1,289	△30.0
30年3月期第2四半期	26,233	23.2	1,238	△1.8	2,594	△17.7	1,842	△18.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 668百万円(△73.7%) 30年3月期第2四半期 2,547百万円(156.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	58.38	—
30年3月期第2四半期	83.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	72,699	43,423	55.1
30年3月期	76,655	43,674	52.5

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 40,053百万円 30年3月期 40,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
31年3月期	—	16.00			
31年3月期(予想)			—	20.00	36.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	60,400	5.5	2,600	△20.9	4,400	△25.2	2,600	△34.3
								117.88

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	23,611,200株	30年3月期	23,611,200株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	1,599,820株	30年3月期	1,502,138株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	22,094,846株	30年3月期2Q	22,110,062株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調を維持しているものの、原材料価格等のコスト上昇や相次ぐ自然災害により停滞が懸念される状況となりました。さらに世界経済の先行きについても、米国の保護主義的な政策に端を発する貿易摩擦激化の影響から、依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、当期からスタートしております中期経営計画に基づき、国内事業での安定的な収益基盤の構築、「技術のニットク」の強化と新技術・新製品の開発等に取り組み、企業価値向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、自動車製品関連事業を中心とした国内外での受注増加により286億7千万円（前年同期比9.3%増）となりました。

損益面につきましては、一定の増収効果があったものの、原材料価格の高騰や固定費負担の増加等から、営業利益は11億1千9百万円（前年同期比9.6%減）となりました。経常利益は、持分法による投資利益の減少等により21億2千5百万円（前年同期比18.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億8千9百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

〔塗料関連事業〕

当セグメントの業績につきましては、売上高は工事関連売上が好調に推移し、前年同期を上回りましたが、セグメント利益は原材料価格の高騰、固定費増加等により前年同期を下回りました。

品種別売上高につきましては、屋根用塗料、床用塗料、防水用塗料等の建築・構築物用塗料はほぼ前年同期並みとなったものの、工事関連売上の集合住宅大規模改修工事につきましては、大型物件の受注増加等により前年同期比43.8%増と大きく伸張しました。

この結果、当セグメントの売上高は80億5千7百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益は1億5百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

〔自動車製品関連事業〕

当セグメントの業績につきましては、売上高は国内外で新規部品を中心に受注が増加したことから前年同期を上回りました。セグメント利益は、生産効率化に努めたものの売上原価の高止まりで、前年同期を下回る結果となりました。

品種別売上高につきましては、主力製品の吸・遮音材が、前年同期比15.1%増と大きく伸張し、防錆塗料等の塗材、金型等その他売上も順調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は206億5百万円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は10億1千万円（前年同期比5.9%減）となりました。

〔その他〕

保険代理業の売上高は6百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ39億5千5百万円減少し、726億9千9百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少13億9千万円、受取手形及び売掛金の減少12億5千8百万円、流動資産のその他の減少6億5千1百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ37億5百万円減少し、292億7千5百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少7億4千7百万円、未払法人税等の減少2億2千9百万円、流動負債のその他の減少19億1千3百万円、長期借入金の減少3億7千8百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億5千万円減少し、434億2千3百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加8億9千万円、自己株式の取得による減少2億4千3百万円、その他有価証券評価差額金の減少4億3千9百万円、為替換算調整勘定の減少4億1千5百万円によるものです。自己資本比率は2.6%増加し、55.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13億9千万円減少し、63億5千2百万円となりました。

営業活動による資金は、38億4千4百万円の収入（前年同期比4億6千8百万円の増加）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益20億7千3百万円に対して、減価償却費17億2千9百万円、持分法による投資損益△8億8千万円、売上債権の増減額13億7千3百万円、仕入債務の増減額△7億2千4百万円、利息及び配当金の受取額7億8千1百万円、法人税等の支払額△6億1千9百万円によるものです。

投資活動による資金は、39億3千3百万円の支出（前年同期比5億4千1百万円の増加）となりました。この主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出38億7千6百万円によるものです。

財務活動による資金は、12億7千2百万円の支出（前年同期比3千5百万円の増加）となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入3億円、長期借入金の返済による支出8億3千9百万円、自己株式の取得による支出2億4千2百万円、配当金の支払額3億9千7百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績に加え、原材料高の影響を含む外部環境や最近の業績動向等を踏まえ、以下のとおり修正いたしました。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の根拠に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

〔通期の連結業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	60,600	3,300	5,900	4,000	180.92
今回修正予想（B）	60,400	2,600	4,400	2,600	117.88
増減額（B－A）	△200	△700	△1,500	△1,400	—
増減率（%）	△0.3	△21.2	△25.4	△35.0	—
（ご参考）前期実績 （平成30年3月期）	57,260	3,286	5,881	3,960	179.12

〔セグメント別業績予想〕

	売上高	セグメント利益
	百万円	百万円
塗料関連事業	16,800	300
自動車製品関連事業	43,600	2,300

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,760	6,370
受取手形及び売掛金	12,981	11,722
電子記録債権	3,974	3,787
商品及び製品	1,573	1,507
仕掛品	600	474
原材料及び貯蔵品	1,138	1,194
その他	1,355	704
貸倒引当金	△7	△4
流動資産合計	29,377	25,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,234	8,013
機械装置及び運搬具(純額)	7,555	8,595
土地	4,695	4,695
建設仮勘定	2,651	1,478
その他(純額)	1,907	2,087
有形固定資産合計	25,044	24,871
無形固定資産		
その他	1,191	1,122
無形固定資産合計	1,191	1,122
投資その他の資産		
投資有価証券	19,117	18,728
長期貸付金	322	318
繰延税金資産	162	159
その他	1,475	1,782
貸倒引当金	△35	△40
投資その他の資産合計	21,042	20,948
固定資産合計	47,278	46,942
資産合計	76,655	72,699

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,412	11,665
短期借入金	3,067	2,979
リース債務	47	34
未払法人税等	510	281
役員賞与引当金	91	-
その他	6,586	4,673
流動負債合計	22,715	19,632
固定負債		
長期借入金	4,966	4,588
リース債務	181	133
退職給付に係る負債	4,090	3,983
繰延税金負債	985	896
その他	40	40
固定負債合計	10,265	9,642
負債合計	32,981	29,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,237	4,237
利益剰余金	26,103	26,994
自己株式	△499	△743
株主資本合計	34,594	35,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,383	4,944
為替換算調整勘定	309	△106
退職給付に係る調整累計額	△48	△26
その他の包括利益累計額合計	5,645	4,811
非支配株主持分	3,434	3,370
純資産合計	43,674	43,423
負債純資産合計	76,655	72,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	26,233	28,670
売上原価	20,545	22,978
売上総利益	5,687	5,692
販売費及び一般管理費	4,449	4,573
営業利益	1,238	1,119
営業外収益		
受取配当金	128	151
持分法による投資利益	1,140	880
その他	153	80
営業外収益合計	1,422	1,112
営業外費用		
支払利息	53	52
為替差損	-	46
その他	12	7
営業外費用合計	66	105
経常利益	2,594	2,125
特別利益		
固定資産売却益	0	5
受取保険金	3	0
投資有価証券売却益	101	9
特別利益合計	105	15
特別損失		
固定資産処分損	97	67
投資有価証券売却損	-	0
特別損失合計	97	67
税金等調整前四半期純利益	2,601	2,073
法人税等	438	436
四半期純利益	2,163	1,636
非支配株主に帰属する四半期純利益	321	346
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,842	1,289

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	2,163	1,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	741	△437
為替換算調整勘定	△97	△264
退職給付に係る調整額	43	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△303	△288
その他の包括利益合計	384	△967
四半期包括利益	2,547	668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,276	456
非支配株主に係る四半期包括利益	271	211

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,601	2,073
減価償却費	1,340	1,729
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	△82
受取利息及び受取配当金	△152	△177
支払利息	53	52
持分法による投資損益(△は益)	△1,140	△880
固定資産売却損益(△は益)	△0	△5
固定資産処分損益(△は益)	97	67
投資有価証券売却損益(△は益)	△101	△8
受取保険金	△3	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△1,210	1,373
たな卸資産の増減額(△は増加)	19	111
仕入債務の増減額(△は減少)	828	△724
その他	419	199
小計	2,749	3,726
利息及び配当金の受取額	1,001	781
利息の支払額	△53	△44
保険金の受取額	3	0
法人税等の支払額	△325	△619
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,376	3,844
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,538	△3,876
有形及び無形固定資産の売却による収入	6	12
投資有価証券の取得による支出	△6	△7
投資有価証券の売却による収入	166	11
貸付けによる支出	-	△5
その他	△20	△68
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,392	△3,933
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	112	140
長期借入れによる収入	112	300
長期借入金の返済による支出	△736	△839
自己株式の取得による支出	△0	△242
配当金の支払額	△398	△397
非支配株主への配当金の支払額	△105	△178
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△165	-
その他	△56	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,237	△1,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,239	△1,390
現金及び現金同等物の期首残高	8,555	7,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,315	6,352

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,312	18,914	26,226	6	26,233	—	26,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	—	1	△1	—
計	7,314	18,914	26,228	6	26,235	△1	26,233
セグメント利益	161	1,074	1,235	3	1,238	—	1,238

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,057	20,605	28,663	6	28,670	—	28,670
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	—	1	△1	—
計	8,059	20,605	28,665	6	28,672	△1	28,670
セグメント利益	105	1,010	1,115	3	1,119	—	1,119

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。